

洛中に怪人現る!!

狐面・猫面の二人組、市中擾乱す

今月某日、当学南吉田キャンパス側の某学生寮にて、学生たちのベランダに干された洗濯物が放水によつて悉く濡らされるという被害が報告された。第一発見者である某氏が誰何したところすぐさま逃走したため、下手人は捕まっておらず、また、その目的も明らかに成っていない。当紙記者がその第一発見者から取材した証言は以下の如くである。

「煙草を吸おうとベランダの窓を開けると、裏庭に備え付けの水道にホースをつけて放水している二人組がいた。猟銃の壁面と洗濯物が水浸しになっており、自分の洗濯物も濡らされていたので、何をする賊奴、と怒鳴ったところ、すぐに逃げた。追う暇もなかった。犯人は二人ともお面で仮装しており、顔はわからなかった。確か、狐

面と猫面だったと思う。実にふざけている」

以上の証言から、下手人はこの数週間、京都の町のあちこちで目撃される怪人・通称狐面と猫面であると思われる。この怪人二人組は神出鬼没にして大胆不敵、京都市中を縦横無尽に駆け巡っては様々な悪行を働く迷惑千万不逞の輩である。今までに本学周辺はもとより、上賀茂神社、三十三間堂周辺、南禅寺付近など、場所を選ばず出没しており、悪行の内容も窃盗をはじめ、落書き、植木鉢の破壊、他に鴨川河川敷で愛を語らうカップルにネズミ花火を放つ、金閣寺の池の鯉にコーンフレークを撒くなど一貫していない。警察もこれを一種の愉快犯としてマークしているものの、神出鬼没にして目的不明の彼らの行動には捜査方針も定まらず、手を焼いているようだ。当紙としては、洛中を騒がせる怪人の正体を白日の下に晒すべく、今後とも追跡を続ける所存である。